

研究課題番号	5RF-2201
研究課題名	建築物の解体現場等において現場判定を可能とする大気飛散アスベスト迅速検出技術の開発
研究実施期間	令和4年度～令和5年度
研究機関名	広島県立総合技術研究所
研究代表者名	濱脇 亮次

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

迅速で簡便なアスベストの検出方法の開発は非常に重要な課題であり、既存の発色試薬である DPD を工事現場における飛散アスベストの検出・定量への応用を試みた点は高く評価される。DPD とアスベストの発色反応において、低濃度域での高感度化や妨害成分の抑制の検討、発色強度の量的依存性の検討などが行われた。それに加えて、DPD とアスベストとの反応機構について基礎的な点から明らかにすることができれば方法論としての説得力が増すものと考えられる。特許化や論文化もぜひ進めていただきたい。今後は、アスベスト測定では許容されない偽陰性判定を排除するための技術的な検討も加え、現場で簡易に測定できるスクリーニング手法としての実用化を目指していただきたい。